

JSMMRセミナーシリーズ第5回 「混合研究法による 論文作成を経て得られたもの」

【紹介論文】A mixed methods study on the readiness of dental, medical, and nursing students for interprofessional learning

開催日時:2022年3月24日(木)18:00~19:30

開催方法:**会員限定**オンライン開催(Zoom)

Zoom情報は**会員メーリングリスト**での案内をご覧下さい。 **参加費無料**、事前申込不要

講 師:沼沢益行先生

(東京医科歯科大学統合教育機構教学IR部門)

今回紹介する論文は、医学生、歯学生、看護学生における多職種連携教育効果の専攻間の違い、およびその違いに影響している要因を、混合研究法により明らかにすることを目的として執筆しました。演者自身は混合研究法の専門家ではなく、むしろ初学者であると自認していますが、混合研究法の経験者もいる共著者の協力/指導のおかげもあり、混合研究法を介して論文の質を高められたとともに、その過程でたくさんの有意義な物事が得ることができました。

講演では、研究目的の設定、研究手法の適用、解析の実践、結果を踏まえた考察、全体をまとめる論文の作成といった過程の中で、検討や工夫をした点、それらを通して得られた成果等を、量的解析/質的解析/混合研究法といった面に焦点を当てつつ紹介いたします。特に、論文のアクセプト/パブリッシュに繋がりうる実際的なtipsを、初学者ならではの視点で取り上げてみたいと思います。

【紹介論文】Numasawa M, Nawa N, Funakoshi Y. et, al. A mixed methods study on the readiness of dental, medical, and nursing students for interprofessional learning. PLoS One. 2021 Jul 22;16(7):e0255086. doi:10.1371/journal.pone.0255086. PMID: 34293058; PMCID:PMC8297869.

※本論文は右のURLから入手できます → <https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/34293058/>

沼沢 益行氏(NUMASAWA Mitsuyuki, MD)

東京医科歯科大学の統合教育機構における特任助教として、教学IR (Institutional Research)、多職種連携実習等の運営、遠隔教育の全学的サポート等の業務を担当。糖尿病・内分泌・代謝内科の医師として診療を兼務(糖尿病専門医)。医学科、歯学科、看護学専攻、検査技術学専攻、口腔保健衛生学専攻、口腔保健工学専攻といった歯学/口腔保健学領域を含む複数の医療系学科専攻を有している大学の特長を活かして、複数学科専攻の学生も対象とした医学教育関連研究に取り組んでいる。今回紹介する論文では、多職種連携実習に関連するデータを用いて、教学IRの業務でも行っている量的解析の手法を研究に応用しつつ、さらに質的解析を加えた混合研究法を活用した解析を行った。

主催:日本混合研究法学会

JSMMR

問い合わせ先：
jsmmr.adm@gmail.com

※夕食時ですので、飲食などされながらリラックスしてご参加ください。